

あさひの日だまり

NO.17

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～避難訓練がありました～

自分の安全をまず確保です

9月1日に避難訓練がありました。前日の日曜日には各地域の防災訓練がありました。各ご家庭におかれましては、避難場所への避難や消火訓練等を行ったことと思います。私の地区でも防災訓練が行われました。区長さんから事前に「悪いんだけど消防団がAED講習をしてくれるので、その後住民代表でAEDを実際に扱う役をやってくれないか」と依頼されていました。緊張しながら何とか役を果たしました。実際に避難をしたり、AEDを使ったりするようなことが起きないことを心から願っていますがこれから先に何が起きるかはわかりません。十分な準備をしておけばよかったという後悔だけはしたくありません。そんなことを思いながら1日の避難訓練に臨みました。

「地震発生・地震発生」の放送で避難訓練は始まりました。私は校庭で子どもたちの避難を待ちました。「避難開始」の号令で避難口から一斉に子どもたちがグラウンドへ出てきました。先生方の先導で一生懸命に避難場所へかけてくる子どもたちを見守りました。

子どもたちの避難の様子は本当に立派でした。緊張した面持ちで口を閉じ真剣に行動していました。

講評の時間をいただきましたので子どもたちに下のようなお話をさせてもらいました。

皆さんの避難の様子は大変すばらしかったです。短い時間でここへ集まりました。真剣な表情で訓練に取り組みました。大変立派でした。大変良い避難訓練を行うことができました。

今日こうしてここへ集まってくれているので校長先生から少しお話をさせていただきます。

皆さんに一つ質問をします。

教室にいたときに地震が起きました。さあどうしますか？ 次の3つの中から選んでください

- 1 先生が声をかけてくれるので耳を澄まして指示が聞けるように準備する。
- 2 すぐに机の下に入り頭を守る。
- 3 周りの友だちに声をかけてみんなで一緒に机の下に入る。

さあ正解はどれでしょう。手を挙げろとは言わないので自分で正解だと思う番号を頭に浮かべて下さい。

一番大切なことを言いますね。災害が起きたらまず自分の体を自分で守ります。これが一番大切なことです。さあ答えは何番でしょう。(子どもたちが②番と大きな声で答えてくれました)

そうですね、答えは2番です。

先生方は当然「机の下へ頭を入れて身を低くしなさい」と叫びます。でも、その指示を待っている必要はありません。先生の声の前に机の下へもぐるのです。

友だちのこともとても大切です。ですから、まず自分の体を机の下に入れ、頭の安全を確保してから周りでまだ立っている人がいたら「〇〇さん机の下に入って！」と大きな声で呼びかけるのです。そうやって友だちの命も守ってあげましょう。

ゆれはすぐにおさまります。大きな地震でもゆれは長くて1分くらいだと言われています。ゆれがおさまれば次の指示があります。先生の指示をしっかりと聞いてその指示に従ってください。そこからは落ち着いて行動してください。

次に体育館で地震が起きたらどうするかお話しします。体育館では地震が起きるとガラスや色々な器具が壁際に落ちてきます。体育館の真ん中へ行き身を低くして頭を守って下さい。

廊下で地震が起きたら近くの教室へ入って机の下へ入って下さい。

昇降口で地震が起きたら、下駄箱が倒れてくるので下駄箱とガラスから離れて体を低くして頭を守って下さい。

今なんのために校長先生がいろいろなことをお願いしたか、それはもし地震が起きたら自分で考えてすぐに動いてほしいからです。「どうしよう」と思っで一瞬考えてもよいですがそのまま固まって動けなくなってしまうはいけません。地

震が起きたら必ず動かなくてははいけません。難しいことはありません。もう一度繰り返します。

教室にいたら机の下へもぐる

体育館にいたら体育館の真ん中へ行く

廊下にいたら教室の机の下へ入る

昇降口にいたら下駄箱と玄関のガラスから離れる

できそうですか。(ハイという返事やうなずいてくれる子どもたちでした)

もし地震が起きたら、先生はこのグラウンドにみんなが無事に避難してくることを心から願っています。必ずここへ無事に逃げてきてくださいね。先生はここにみんなが無事に集まってくれることを信じて待っています。

校長先生のお話はこれで終わりです。



避難の最中の様子は撮影できませんでしたので、避難訓練を終えて足洗い場できちんと靴を洗い流して校舎内へ整然と戻っていく5年生の様子を撮影しました。

～新しい班で縦割り清掃が始まります～

協力して頑張りましょう



3日水曜日の朝活動の時間に体育館へ集まって縦割り清掃はじめての会が開かれました。写真のようにリーダーがカードをもってメンバーの集合を待っていました。何回目かの会ですので子どもたちの動きはスムーズでした。

会の冒頭で清掃担当の山崎先生から「1学期の始めの会の時、校長先生から縦割り清掃の目的についてお話がありました皆さん覚えていますか？」という問いかけがありました。私はドキリ

としました。「何を言ったっけ？」と振り返りました。山崎先生が二つのことをお話してくれました。

- 1 グループのメンバーと仲良くなること。
- 2 上級生が下級生の面倒を見たり見本になったりして自分たちが学校をきれいにしようと考えて清掃をすること。

の2つでした。そして、そのことを意識して頑張れた人はこの後も継続して頑張りましょうと励ましてくださいました。今までそのことを忘れていた人はここで改めて心して取り組みましょうとお話してくれました。私がいつもお話ししている「自分たちで考えて行動を起こす」ということを大切にして子どもたちと考える時間を作って下さったことに心から感謝の気持ちを持ちました。

私は先生に指示されて清掃を頑張ることはできないと思っているのです。本当の意味で頑張れるのは自分の意思が働いているときだけです。「このグループのみんなできれいにしよう!」「後輩が困らないように見本を見せよう」「5・6年生と同じように頑張るぞ!」「自分の分担には汚れを残さないぞ!」そういう意思が働くことがかけがえのない経験だと思うのです。そういう経験が「自ら行動できる力」を少しずつ育んでくれると思います。子どもたちの頑張りを今から期待しています。

グループごとの打ち合わせ

